

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 株式会社オオタ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		企業理念、経営目標を記した「オオタプライド」を策定し、事務所および作業場に掲示して、意識の共有を図っている。								8	9								17			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		就業規則を2020年以降3回にわたって更新し、社業に即した法令順守の考えを確立させ、その浸透に取り組んでいる。																	16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		建築工事請負契約の原則に則り、確実に契約書を作成交付するなど、元請、下請けとの契約手続きの厳格化に取り組んでいる。										10								16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		各部幹部の配置など社内の組織体制を明確化させ、幹部の役割について幹部会議の都度、教育するなどその体制強化に取り組んでいる。																		16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産の保護に関して厳格な姿勢で臨んでおり、新商品開発にあつたでの著作権の取扱いなど、社内での重要性の認識に取り組んでいる。							8.2 8.3	9										16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報保護に該当する個人情報について、社員全員に周知を図り、適切な取り扱いを指導し、その管理を徹底している。																		16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		取引業者との連携により、協調体制を強化するとともに、利害関係者に不利益を及ぼすことのないよう、業務の都度、幹部による確認を徹底している。																	16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		当社の業務は、そのほとんどが大手・中堅建築業者の下請けによって成り立っているが、隸属の関係に陥らないよう、倫理面での適切な対応を徹底させ、その推進に取り組んでいる。					5		8	10		12	13	14	15	16	17					
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●										9		11		13.1							16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		2019年、創業家からM&Aにより運営体制されており、今後の方針等、その対策が十分に行われている。								8	9										17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2		5		8					12	13	14	15	16	17				
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、階級、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		就業規則に明確に規定されているほか、新人の入社時に全社員に対して、ハラスメントの概要、行為、相談時の対応要領等、具体的に指導教育し、それらの行為は絶対に許さないとの厳格な会社方針を示している。		4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		社員全員の健康診断を定期的に実施しており、熱中症対策のOS1、塩鈍の携行のほか、冷感ユニフォームを整備するなど、健康面の管理徹底に取り組んでいる。また事故発生時は確実に会社対応すること全社員に周知させ、その防止にとりくんでいる。	3						8.8													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		全社員39人中、69歳以上の4人を本人の希望に基づいて有期雇用に切り替えているが、本人希望の勤務日数に応じて常勤者と同様の勤務形態をしている。				5.5			8.5 8.8		10.2 10.3											
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		2021年4月1日から、全社員を対象に完全週休2日制を導入し働き方の見直しを行っている。 年次有給休暇の確実な取得に取り組んでいる。	3		5.5			8.5 8.8		10.3												
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		就業規則に、職業能力開発制度、セルフキャリアドッグ制度、教育訓練休暇等制度を明記し、会社として社員の資格取得を奨励している。	4	5.5				8	9													
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		健康診断、インフルエンザ予防接種の経費を会社負担とし、健康状態を管理している。	3					8													17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		65歳以上の社員が5人、ベトナム人実習生が2人、女性職人が5人在籍するが、いずれもその特性を生かして活躍している。特に、2020年10月から女性左官職人育成を方針として打ち出し、受入れのための女子寮新設等環境の整備等に取り組んでいる。		4.4 5.5	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3										16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		稼働場所が九州全域に及んでおり、オンラインでの会議参加など、遠隔地における稼働者に対するタイムリーな現場指導体制を充実させている。	3					8	9.1		11	12										
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		各現場ごとにiPad10台を配備し、作業手順をYouTube登載の自社制作動画により確認をさせるほか、オンラインでの現場指導を行うなど、ICTを活用した業務改革に取り組んでいる。						8	9.1		11	12										
	21	【プラット企業】 ・プラット企業に認定されている。	●			3	4				8	9			12										

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 株式会社オオタ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		産業廃棄物処理業者と契約して廃棄物処理用のコンテナを常備するなど、適切な管理・処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		事務所、作業場、従業員別での電力使用量、社用車ガソリン使用料等を把握し、その削減に取り組んでいる。また、社用車をハイブリッド車に順次変更している。						7.3							13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを用いてCO2排出量を算出しており、昨年度はCO2量合計72であったが、ハイブリッド車の導入のほか、従業員寮における節電等を進め、その削減に取り組んでいる。	2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		自然素材である漆喰を用いた健康壁リフォームを新事業として、自然環境に配慮した素材の浸透を推進し生物多様性の保全に取り組んでいる。					6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		不用品、ごみの分別を徹底し、廃棄物の抑制を進めるとともに、リサイクルへの協力を会社を挙げて推進している。							9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		汚水の適切な処理を進めるとともに、雨水の利用による節水など、水資源の保全への意識の浸透に取り組んでいる。	2.4				6.3 6.4 6.6 6.7					11.5		14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入・リサイクル製品認証等)。	●		調湿、消臭、抗菌、防炎効果に優れた自然素材であるしっくいを壁材として積極的に提供するなど、環境に配慮した製品の導入に取り組んでいる。							9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		職業訓練校生徒に対して昼食を提供しており、個々に応じた食事量の接種を進めて、食品ロスの削減に取り組んでいる。	1	2			6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		社屋周りに植栽を行って、緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。										11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		従業員寮の冷蔵庫、洗濯乾燥機、電子レンジ、IHヒーターを交換するなど、高効率機器を積極的に導入しエネルギー使用率の改善に取り組んでいる。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・伐って、使って、植えて、育てるの持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6		9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		社用車の保有台数を増加させて乗合せを促進し、現場への乗り入れ車両数の削減に取り組んでいる。							9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		硬化時にCO2を吸収する漆喰はカーボンニュートラル素材であり、同材料を使用しての健康壁施工を進め、CO2削減に寄与する方針である。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.2		

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 株式会社オオタ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		材料メーカーや、各種機械取扱い業者を積極的に招致し、従業員への説明会を開催するなど、新素材・新技術の積極的導入を進めるなど、安全性や品質を確保する仕組みを構築している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		リフォーム時の養生において、入居者の生活に支障を及ぼさない形態での養生シートの設置等、家具等の移動、清掃の徹底等、お客様の要望に細やかに対応できるサービス向上を目指して勉強会の開催、先進企業の視察を行って環境整備に取り組んでいる。								9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●			2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		カーボンニュートラル素材である漆喰の普及促進に向けて、ワークショップイベントを開催するなど、新素材の活用による健康壁リフォームに取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		当社寄贈に係る県庁プロムナード設置の熊本城モニメントを定期的にボランティア補修を行うなど、社会奉仕活動に積極的に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災・減災（レジリエンス・自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		遠隔地居住の従業員が多数在籍することから、各自の自宅周辺ハザードマップを確認させるとともに、通勤及び退勤時の避難措置について、適宜具体的に指示を行っている。				4							11.5		13.1		16		
	45	【防火・消火・レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		従業員の複数が地元消防団に入加入しており、活動日に応じて勤務変更を優先させるなど、会社としてその活動参加を支援している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターナショナルの受け入れ】 ・職場体験、インターナショナルの受け入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		熊本工業高校、八代工業高校における職場説明会への参加をおこなっているほか、職場体験を積極的に受け入れている。					4			8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		県内の大半の高校を直接訪問して求職活動を行うなど、令和3年度6人、令和4年度5人の採用に結び付けている。				4.4				8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。